

## 視察研修・研修会等報告書

議席番号 3 議員名 櫻井 惠二

1. 年 月 日 平成 29年 9月 27日 (日数 2泊3日)
2. 場 所 山鹿市
3. 視察、研修時候 空家対策
4. 面 接 者 地域生活課長：近藤敏、係長：阪本麻子、主任：野中孝久
5. 視察研修、研修会の成果

山鹿市は、合併時2005年は60,065人、現在2017年は53,247人に減少している。2060年には38,000人と予想されている。

### ○空き家実態調査

平成28年度に目視による空き家調査を実施。

㈱ゼンリンに調査を依頼、調査期間1ヶ月、調査料金556万円

山鹿市戸数21,788世帯中空き家だろうと推測される件数1,012件である。

空き家のランク付けも同時に行った。

### ○移住定住促進事業

1. 空き家バンク制度
2. 空き家バンク活用促進事業補助
3. 移住体験ツアーの実施
4. 移住コーディネーターの設置
5. 移住者交流会の開催

### 《所感》

山鹿市の空き家対策は単なる空き家をどうするということではなく、山鹿市の良さを多くの人に知ってもらい山鹿市にふさわしい人に移住していただく、そして少しでも人口減少に歯止めをかけたい。そんな市側の思惑があり、この様に連続した施策が組まれたと思います。そして移住者に対するアフターまで丁寧に行われていると感じました。

## 視察研修・研修会等報告書

議席番号 3 議員名 櫻井 惠二

1. 年 月 日 平成 29年 9月 28日 (日数 2泊3日)
2. 場 所 柳川市
3. 視察、研修時候 柳川市の地籍調査取り組み
4. 面 接 者 国土調査課長：由衛和博、係長：乗富雄二、永田将太
5. 視察研修、研修会の成果

柳川市は人口68,400人 面積77km<sup>2</sup> 地目別にみると宅地16.3%、農地が50.9%、その他の地目が32.8%となっています。柳川市は水郷柳川といわれておりますが、その名のとおり市内を水路が縦横に走っていて、総延長は約930kmに及ぶその景観が歴史的文化遺産として形成されている。この水路を不法に埋め立てられ使用されている結果、払い下げの手続きを行っている当課担当の水路道路払い下げ申請が年50~60件あり毎年1,500万円~2,000万円の不動産収入になっている。当市は平成17年の合併当時の推進率は40%でした。平成22年度から測量業者の企画提案のプロポーザル方式を毎年厳選委託し、職員2名と業者4名との2~3班体制にて現地調査測量を行ったため昨年度末の推進率は7年前の45%から75%と急伸しており、合併前の20年前の調査面積比では5倍~10倍のスピードで進んでいる。理由は専門的知識や経験を持つ職員が増えて外注による技術向上によるものと考えられる。

### 〈所感〉

職員の熱心さには頭が下がる。この施策の必要性をいかに市民に理解していただくかが最大のポイントではないかと思った。

今回の研修先3市共に時間を大幅にオーバーする説明をいただいた。自分自身も何が出来るか考えさせられた研修でした。

## 視察研修・研修会等報告書

議席番号 3 議員名 櫻井 惠二

1. 年 月 日 平成 29年 9月 29日 (日数 2泊3日)
2. 場 所 佐賀市
3. 視察、研修時候 中心市街地での地籍調査の取り組みについて
4. 面 接 者 都市建設課長：干潟隆雄、土地整備係長：山田正信、福岡正和、  
佐々木ミカ
5. 視察研修、研修会の成果

佐賀市は平成17年に佐賀市、諸富町、大和町、富士町、三瀬村が合併し平成19年に川副町、東与賀町、久保田町とも合併をし、人口227,506人 面積431km<sup>2</sup>の市となった。現在の人口は234,158人である。

佐賀市における地籍調査は昭和43年度から始まり平成26年度末までの調査実施面積は339km<sup>2</sup>進捗率は95.6%となっている、しかしながら中心市街地の調査は土地が細分化されていることによる土地所有者の把握の困難さや筆界未定になる事案が多く発生したことなどにより、平成2年度から休止の状態となっている。平成22年度に国土調査法の一部改正を受け平成28年度より再開を決定した。これにより、まず佐賀市地籍調査基本計画を策定する。概要は平成28年度から平成58年度まで調査面積12.19km<sup>2</sup>調査の流れは都市部官民基本調査→官民境界等先行調査→筆地調査、調査方式は国土調査法第10条第2項に基づく委託方式、事業費約14.1億円うち市実質負担0.8億円である。

### 《所感》

あらためて地籍調査の困難さを知るが、忍耐強く取り組む姿には感心した。佐賀市の地籍調査は矢板市にとって学ぶところが多いと感じた。今回の3市とも将来の自分のまちに対して強い危機感をもっていると感じました。また、たいへん親切な対応をしていただき満足いく研修をすることが出来ました。